







<p>【イベント名】 メキシコとの内視鏡、技術研修報告会</p>	<p>【概要】 九州大学病院での研修を通じてエンジニアは高精細の遠隔医療会議について訓練し、体系的手順を学習できた。医師にとってはアジアの医師と内視鏡所見を議論する良い機会となった。遠隔医療会議では、参加者にとって低コストの技術を選ぶこと、多分野にまたがるチームを作ること、十分な準備を行うこと、商用ネットワークとの格差を埋める技術を開発することなどが重要である。</p>
<p>【期日】 2017.09.05</p>	
<p>【会場】 九州大学病院（日本）、メキシコ癌研究所(INCan)（メキシコ）、フライ アントニオ アルカルデ市民病院（メキシコ）、メキシコ国立工科大学医学部（メキシコ）、メキシコ研究教育ネットワーク（メキシコ）、イスタバルカ高度専門地域病院（メキシコ）、コスタ・リカ大学（コスタリカ）</p>	
	
<p>九州大学病院から発表するMs. Nancy。</p>	<p>九州大学病院から発表するDr. Melissa。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>フライ アントニオ アルカルデ市民病院から参加するDr. Marina（左）。</p>	<p>提示されたスライド。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>九州大学病院から発表するDr. Edgar。</p>	<p>報告会終了後の記念撮影。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>